

活動報告いきいきと

討論時間不足だったが

2002年健友会友の会総会

六月三日、なかの芸能小劇場で健友会友の会の二〇〇二年度総会が開催されました。これには各

友の会の役員と担当職員ら七八人が参加し、今年度の活動方針・予算・役員を決めました。

児島勢能子副会長による開会宣言で総会がスタート。議長は、小池賢次郎副会長と諏佐洋子共友の会副会長。はじめに飯島登会長が開会あいさつを行い、つづいて来賓の吉田信夫都議と前都議・植木こうじ氏、中野区長選挙に立候補した高山真三氏があいさつを行ないました。

竹崎三立理事長による「健友会からの報告」では、医療保険改悪、診療報酬引き下げによる影響、新病院

の土地問題などについてふれ、医療経営が非常にきびしくなっていること、友の会に大いに期待をしていることなどが訴えられました。

総会では、「活動方針案」、「会則案」、「会計報告」、「予算案」、「役員」の五つの議案が提案され、質疑・応答・討論を行いました。そして、すべての議案を拍手で確認しました。



二〇〇二年度の幹事がスラリ紹介する伊藤副会長(左端)

健友会 評議員会

新病院の土地探しに全力

規模は現状の134床で

健友会の第40期第三回評議員会が五月二十五日(土)に開かれました。

評議員総数七〇名のうち、出席は四八名(委任状二名含む)。

一年度決算、二〇〇二年度利益処分、三〇〇二年度借入金

の度額、④二〇〇二年度予算、⑤新病院の長期計画の見直しの五つの議案と、「医療改悪断固阻止ノ有事法制許さず!中野区長選勝利!」のアピールについて審議され、すべてが全員一致で採択されました。

二〇〇一年度決算では、経常利益は予算に比べ四八%、前年に比べると九四%と低い結果になりました。

事業収益は前年の一〇二%と伸びていますが、予算比では九七%です。外来と入院の医療収益は

二〇〇二年度決算の目標は、新病院建設の

患者の減少などで予算比九七%、その差額は一億円と大きく、この差が目標利益の未達成に影響しています。保健予防収益は予算比一〇三%で、介護保険収益も前年比一二二%となっています。

二〇〇一年度利益処分は次期に繰り越すことになりました。二〇〇二年度借入金は、病院移転地の確保を想定して一〇億円を増額しています。二〇〇二年度予算の目標は、職員給与は定期

健友会友の会第1回平和を考える沖縄の旅

月日	スケジュール	宿泊・夕食
9月29日(日)	羽田空港 → 那覇空港 *** 喜歌高台・普天間基地(昼食) 8:30 (ANA81便) 11:10 12:20 13:20 ***** 大黒名・キャンプズケラン **** トリステーション **** 象のオリ **** 読谷の役場訪問 **** 万座毛 **** 13:50 14:10 キャンプシュワブ **** 辺野古海上基地候補地・田結小屋 15:40 16:30 ***** 本部(泊) 17:30ころ	(宿泊) ロイヤルビューホテル (夕食) ホテルで
9月30日(月)	ホテル **** 本部港 **** 伊江島(昼食) **** 本部港 8:30 9:00 9:30 13:00 13:30 ***** サモット会場 ***** プセナ海中展望塔 **** 14:20 15:20 高平納基地(安楽が見える丘) **** 那覇(泊) 16:00 16:20 17:20ころ	(宿泊) スカイプラザホテル (夕食) オプション
10月1日(火)	ホテル **** 守礼の門・首里城 **** 糸数の子 9:00 9:30 10:30 11:00 12:00 琉球ガラス村(昼食) **** ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念 12:30 13:40 14:00 資料館 **** 瑞鶴の塔・厚文仁平和祈念公園 **** 14:50 15:00 16:30 *** 韓国入聖堂塔・平和の礎・県立平和祈念資料館 **** 16:00 **** 那覇空港 → 羽田空港 16:00 19:40 (ANA92便) 21:50	

- 旅行費用 1人58,000円(2泊3日、朝食2回・昼食3回・夕食1回付)
- オプション 9/30夕食(何コースかに分かります。希望をとります)
- 申し込み先 各院所友の会
- 申し込み切 8月31日
- 問い合わせ先 健友会友の会(03-3387-5888)

中野区長選で高山真三氏惜敗

健康講座のとりくみ、やまと診友の会の新築・移転に向けての報告など多岐にわたるものでした。

友の会の「人と生命の新しい出会い」をテーマにしたとりくみ、共友の会の友の会コーナーに障害者相談所設置・食事会のとりくみ、桜山友の会および城診友の会の食事会のとりくみ、西荻診友の会の医療改悪反対署名活動、かわしん友の会の

中野区長選で高山真三氏惜敗

健康講座のとりくみ、やまと診友の会の新築・移転に向けての報告など多岐にわたるものでした。

六月九日投票の中野区長選で、オール健友会が応援した高山真三氏(と申したてなおそう中野区民の会)推薦)は五二九票差で惜敗しました。新区長には、中野区の行政改革課長をしていた田中大輔氏に決まりました。

友の会 すなづぶ 病院診療所

3つの会で合同旅行

六月一日(一)七日、西荻窪診療所、天沼診療所、桃井診療所の三つの友の会の合同旅行会が、総勢三九人の参加で行なわれました。梅雨時でしたが、幸い二日間とも天候に恵まれ、楽しい旅行会になりました。

初日は、まず那須ハートランドのお花の城で三五〇種類ものペゴニアの花を見学。お菓子の城で昼食をとり、定義如来を参拝してから、作並温泉へと向かいました。山間にある岩松旅館につくと同時に大粒の雨が降り出し、思いがけず雨にけむる天然岩風呂を満喫。夜はカラオケや宿泊部屋からの出し物などが飛び出した宴会で、楽しいひとときを過ごしました。

翌日は松島へ。松島ではさかな市場

緑を楽しむ会を清澄庭園で

川島診療所友の会 かわしん友の会では五月二十九日(水)、大江戸線に乗って清澄庭園へ行ってきました。参加者は三〇人でした。新緑の中でお弁当を食べたあとは散歩する人、スケッチする人、写真を撮る人、ベンチに座って景色を眺める人など、みんなが自由にのんびり。



「東京にもこんないい場所があったのね。また来たい!」みんなでスケッチするのは楽しいね」と参加者は絶賛でした。

雨の花公園/アルプの里

六月二日(水)は、沼診友の会恒例の日帰りバス旅行。三九人で越後湯

に立ち寄り、おみやげ物を物色後、自由行動。遊覧船に乗って松島湾内めぐりをしたり、瑞巖寺などの見学を楽しみました。杉並に到着したのは夜七時を過ぎていましたが、参加者はみんな楽しい旅行に満足だったようで、「来年も参加したい」という感想がたくさん寄せられました。



沢の「アルプの里」へ行きました。この日はあいにく日本列島が梅雨入りで、山頂は深い霧におおわれ、雄大な眺望は楽しめませんでした。しかし、世界最大級の湯沢温泉ロープウェイでいっきに標高千メートルの山へ登り、清らかな空気と色とりどりの花々、雪解けの間から顔を見せる高山植物に心が和みました。

診療所建設委員会がスタート

六月五日(土)、第一回やまと診療所移転新築建設準備委員会が診療所待合室で開かれました。参加したのはやまと診療所職員、やまと診友の会三役、健友会、健友会友の会、地域民主団体、建設会社からの一三人で、①移転・新築に関するこの間の経過、②建設委員会の目標、③やまと診療所の医療構想について報告・検討しました。移転先の土地探しの件、資金集めの課題など、やらなければならないことがいろいろとありますが、地域の人たちに喜ばれる医療をめざして建設を成功させていこうと確認しました。

連載まんが 第7回



ドクターの素顔

毎日、自転車にまたがり、オレンジ色のウインドブレーカー(それしかない?)を着て、さっそうと出勤する山本英司医師。その姿はまさしく、みかんちゃんというイメージです。

七月生まれで、身長一七四cm、体重八〇kg(??)、血液型A型RH(+)。大学時代はラグビー部で、いまでもラグビーシャツが気に入りに入り。釣り好き、飲み会大好きで、職場サーブスで私たちに誘ってくれます。ユーモアあふれるみんなのアイドル、四階病棟のヒーロー(かな?)。

家庭には愛する妻と二人のかわいい子ども、公英君(8)と佳苗ちゃん(5)がいます。

山本医師は岩手県出身。実家は漁業。隣が

ユーモアときびしさと外科医らしい外科医

中野共立院 山本 英司医師(39)



病院だったことから東京医科大学医学部に入り、医師となつてしまつたとか。

八年前、文京区にある民医連の東京健生病院から、外科医師として中野共立病院に支援にきていて、いつの間にか移籍。いまでは中野共立病院4階病棟(看護師一同) 看護師一同)

野共立病院の外科をよって立つ医師です。

消化器外科が専門の山本医師は、ほんとうに外科医らしい外科医。何事もハッキリとものをいい、スパッと竹を割つたような性格です。酔っぱらいや困つた患者さんにも、悪いことをすればピシッと叱りつけるところなどは、ほれぼれするほど。半面、自分の受け持ちではない患者さんを見回つたり、スタッフが忙しくバタバタしているときでも「目の前に困つた人がいるのだから」ととても患者思いのやさしさも合わせ持っています。

「仕事は楽しく、かつきびしく」が信条。(中野共立病院4階病棟 看護師一同)

母とデイケア

杉並区西荻北一丁目 高部高明

車の音がする。母を車椅子に乗せ玄関で待つていて、手早く車のところへつれていく。いつも変わらないにこやかな顔と明るいあいさつに、「きょう一日よろしく」と感謝の気持ちを込めて車椅子を預ける。これがわが家の金曜日の朝である。

五年前にデイケアにお世話になりはじめた時、母は「どうしよう」と尻込みをしていたが、二、三回通所するうちに明るくなり、にこやかになつてきた。これはいろいろの方に接したり、職員の方々のやさしい心づかいや気配りのおかげだということがわかった。

はじめは、介護を他に任せるとは自分の手抜きだとうしろめたさを感じていたが、現在ではデイケア、訪問看護、ショートステイでお世話になることが、介護される

読者のひろば

「読者のひろば」ではみなさんからの投稿(手紙、随筆、絵、書、写真など)をお待ちしています。

100歳になった滋賀先生を訪ねて

元健友会事務 今井文孝

かつて川島診療所の所長だった滋賀秀俊先生が、この六月四日に満一〇〇歳を迎えられた。

六月一日、私は健友会の末廣専務夫妻、川島診療所の広瀬寧先生と一緒に滋賀先生の入院されてきた。感謝している。ご希望でもあった。

滋賀先生は少しばかり耳は不自由だが、知も情も、そして意志も衰えはなさかもない。老健施設の個室で社会運動のあり方を顧みつつ、思索と読書の日々を送つておられる。ただただ驚くばかりである。

戦前は、東大新人会、東大セツルメント医療部、社会医学研究会、無

「南中野」

中野区中野5丁目 飯島 登

今回は南の方へ行きましょう。

神田川は中野区の南部を横断して、本町一丁目



新橋から見た神田川(弥生町付近)

川の新宿区界を流れます。川の南側、弥生町一〜六丁目、南台一〜五丁目は、昔の雑色村(町)とほぼ同じ範囲です。

雑色という町名は、一九六七年の住居表示変更の時までありました。昭

和の初めに書かれた中野町誌には、「雑色は僻地にして、語るべき何ものもなし」なんて書かれていた。しかし、田んぼと畑が半分ずつ、米、麦、豆そぼ、野菜などがよく採れた所でした。村の中

産者診療所支援で、戦後は国立公衆衛生院、ベトナム反戦、反核国際医師会議、民医連診療所等で活躍され、その初心を清冽に貫かれた滋賀先生の生き方は、「人間の生はかくあるべし」とわれわれに語りかけてくる。一世紀まるまるを高潔そのものに生き、いまなお真理を求めてやまない先生から、自分は何にをどれほど学びとっただろうか。

ある日、三男は、「風邪をひいて両手がしびれる」とやまと診療所で安藤先生の診察を受けました。先生は、「風邪ではないかも知れない。しびれがひどくなるようだったら、別の病気かも...」といわれました。翌日、両手足が動かなくなつて

きて、すぐに救急車で中野共立病院へ。そして、菊島先生から「ギランバレー症候群」と診断されました。

菊島先生は、「この病気が進行が速いので、救急体制が完備している日赤医療センターに入院する方がよい」と広尾の日赤に緊急入院できるようにしてくださいました。

翌日には口がきけなくなり、やがて呼吸も困難になつてきて人工呼吸器をつけることに。その後の治療で半年後には人工呼吸器がはずされて口もきけるようになり、いまは小平市にある国立精神神経センター武蔵病院に転院してリハビリに励んでいます。



共立友の会 江田喜久雄

美人画

このあとどこまで回復できるかはわかりませんが、ここまでられたのはやまと診療所から中野共立病院への連携、適切な判断と処置のおかげと、いまさらながら民医連の存在意義を感じ、感謝しています。

に用水路をめぐらし、神田川の水を分流して水田を潤っていました。

雑色村の鎮守様は、南台三丁目にある多田神社(祭神=多田満仲公)でした。源義家が奥羽の地を平定して凱旋の帰途、大宮八幡宮を創建、別当宝仙寺も建立、あわせて尊崇する満仲公の祠を雑色村に建てたと「武蔵名所図会」に記されています。

宝福寺の境内にある「筆塚碑」は、明治三年に雑色村に戸村塾を開いた戸村直衛氏が建てたものです。戸村氏は、中野で最初の公立校・桃園小学校の教師も勤めた教育者で、師弟の使つた毛筆を供養して学業上達を祈願したといわれています。

南台は坂の多い町です。道もまっすぐでなく、てうねっているの、なんと人間らしい風情の漂う町です。「南中野の道や坂に名前をつける会」の人々が活躍しています。先人の足跡を地名に残すなんて、すてきです。

隣には別当寺の宝福寺があります。多田小の空

「南中野の道や坂に名前をつける会」の小冊子参照

(健友会友の会会長)